

「食品のヘルスクレームに関する勉強会」を開催

NPO 法人食科協では平成 17 年度研究事業として、徳島大学総合科学部教授 関澤 純先生（NPO 法人食科協 理事）の「食品安全に関わるリスク評価・リスクコミュニケーションの国際比較と運用のあり方」に研究協力することになりました。

国際協調を必要とする食品の安全問題の中から、当食科協は健康食品やサプリメントの研究開発や安全評価／表示に関係のある「食品のヘルスクレーム（健康強調表示）のあり方」を具体的な議題に選び、リスクコミュニケーション部会での協議と会員等へのアンケート調査を行い、当協議会としての「あり方」に関する論点整理、方向性、考え方などを取りまとめたいと計画しています。

そこで、まず、「食品のヘルスクレーム（健康強調表示）」に関する内外の現状を把握するため、今回の勉強会を開催しました。

この勉強会は、上記の趣旨から会員を対象に計画しましたが、「食品のヘルスクレーム（健康強調表示）」については消費者団体、食品企業、行政機関など各分野の方々の関心も強いことから、会員外の方々へもお知らせし、多数の方々のご参加を得ることが出来ました。

開催日時 2005 年 11 月 10 日

会場 全麺連会館 4 階会議室

講演内容

食品の栄養及びヘルスクレームについて

ー日本及び欧米の現状、コーデックスの検討状況ー

NPO 法人日本国際生命科学協会 理事

(財)日本健康・栄養食品協会特定保健用食品技術部会顧問

ダニスコジャパン株式会社 学術・技術担当最高顧問

浜野 弘昭